

# 株主の皆様へ

第76期 中間報告書

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで

証券コード 3946

株式会社トーモク

# TOMOKU

Packaging Innovation



## 株主の皆様へ



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第76期第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、消費税率の引上げに伴う駆け込み需要の反動がみられていますが、政府による経済対策や日銀の金融緩和を背景に、基調的には緩やかな回復が続いています。住宅投資は駆け込み需要の反動の影響が残るものの、設備投資は企業収益が改善するなかで緩やかに増加しております。雇用・所得環境が改善するもとで個人消費は引き続き底堅く推移しております。然しながら欧州の債務問題や新興国・資源国の経済の動向によっては、景気の下振れ懸念のリスクもあり不透明な事業環境が続くものと見込まれます。

その中で当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は68,488百万円（前年同期比0.4%減）、経常利益は9百万円（前年同期比99.6%減）、四半期純損失は277百万円（前年同期は四半期純利益1,316百万円）となりました。

セグメントの業績は3～4ページに記載の通りでございます。

通期では連結売上高1,540億円、連結経常利益53億円、連結当期純利益28億円を見込んでおります。

以上ご報告の通りでございますが、中間配当金につきましては1株につき3円とさせていただきます。

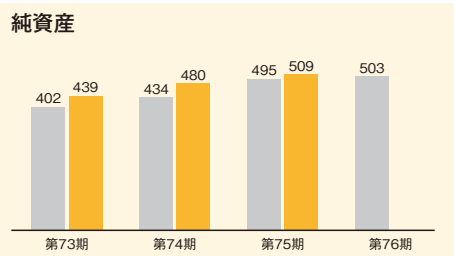
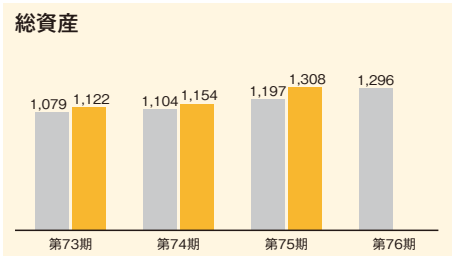
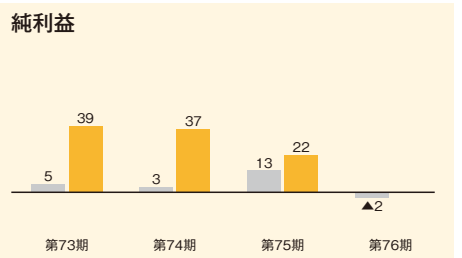
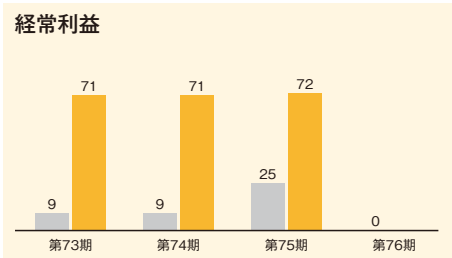
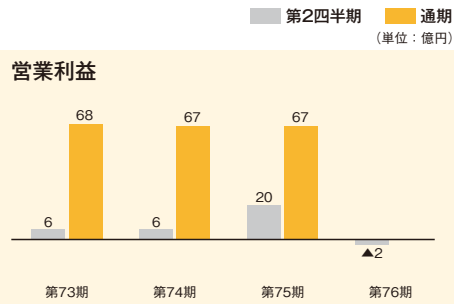
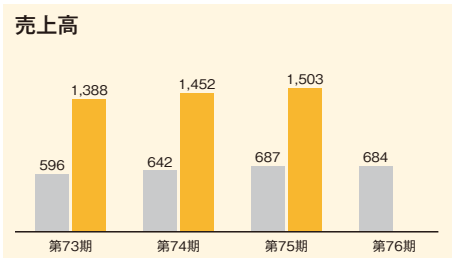
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成26年12月

代表取締役社長 齋藤 英男

# 財務ハイライト

- 連結売上高 **684億88百万円**
- 連結経常利益 **9百万円**
- 連結四半期純損失 **2億77百万円**



## セグメント別 業績

### 段ボール

売上高**408億円**（前年同期比**1.9%減**）

段ボールの需要は、国内経済が総じて緩やかな回復傾向にありましたが、消費税率の引上げ後の反動減や西日本の豪雨などの天候不順の影響による需要減もあり、期中では前年同期並みとなりました。

当社グループの段ボール生産量は、飲料・食品等の落込みをその他でカバーし、前年同期比微増となりました。

関西地区の段ボール需要に対応するため大阪工場に次ぐ拠点として、神戸市に省エネルギーで環境負荷や景観に配慮した新工場を来年3月の稼働を目指して建設中であり、新工場には当社独自技術による世界最新鋭の設備を導入する予定です。館林工場は本年2月の大雪により全面被災しましたが、他工場及びグループ会社挙げての供給体制を敷き、お客様の需要に対応いたしました。館林の新たな工場につきましても来年3月の稼働を目指して建設中であります。

段ボールでは、主原料である原紙価格の上昇やエネルギーコスト、輸送コストの高騰のほか、製品価格の軟調等が影響し、売上高が40,854百万円（前年同期比1.9%減）となり、営業利益は2,101百万円（同47.0%減）となりました。



建設中の館林工場

## 住 宅

売上高**164億**円（前年同期比**2.9%**増）

住宅においては、持家の住宅着工戸数が消費税率の引上げによる駆け込み需要の反動減が続いているものの、住宅の安全・安心に対する関心が高いことや雇用・所得環境の明確な改善などに加え緩和的な金融環境にも支えられて回復への期待感が高まっております。

スウェーデンハウス(株)はお客様により近い場所で地域に根差したサービスができるように新たに新潟支店、広島支店を開設するとともに横浜支店を横浜市西区みなとみらい地区に移転しました。スウェーデンハウスの高耐久、高品質、高性能など優れた基本性能に、ワンランク上の設備・仕様を加えて更に安心・快適な暮らしをご提案する「Swedish Selection + ONE」のパッケージプランを期間限定で販売しております。

住宅の売上高は16,434百万円（前年同期比2.9%増）となりましたが、円安による輸入部材の仕入価格や施工コストが上昇し、また売上が下半期に集中し上半期はコストが先行するという住宅事業の特性もあり、営業損失は2,564百万円（前年同期は営業損失2,430百万円）となりました。



スウェーデンハウス市川モデルハウス

## 運輸倉庫

売上高**111億**円（前年同期比**0.3%**増）

運輸倉庫においては、北関東地区に安定した供給力と倉庫集約による効率的でコスト削減を目的とした大規模物流センターの「群馬センター」を本年6月に開設いたしました。取扱量の増加により売上高は11,199百万円（前年同期比0.3%増）となりましたが、物流業界のドライバー不足や燃料費の高騰により費用が増加し営業利益は534百万円（同32.8%減）となりました。



トウソンサービス群馬センター

## 四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

区 分	前第2四半期 連結会計期間末 (平成25年9月30日現在)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成26年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成26年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産	55,443	56,955	60,172
固定資産	64,294	72,719	70,684
有形固定資産	50,162	57,118	55,556
無形固定資産	425	464	404
投資その他の資産	13,706	15,135	14,722
<b>資産合計</b>	<b>119,738</b>	<b>129,674</b>	<b>130,856</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	40,283	38,518	39,193
固定負債	29,888	40,826	40,754
<b>負債合計</b>	<b>70,171</b>	<b>79,345</b>	<b>79,947</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	46,549	46,481	47,198
資本金	13,669	13,669	13,669
資本剰余金	11,138	11,138	11,138
利益剰余金	22,412	22,352	23,067
自己株式	△ 671	△ 679	△ 677
その他の包括利益累計額	1,279	1,927	1,874
少数株主持分	1,737	1,921	1,835
<b>純資産合計</b>	<b>49,566</b>	<b>50,329</b>	<b>50,908</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>119,738</b>	<b>129,674</b>	<b>130,856</b>

### Point 1 資産の部

総資産は、前連結会計年度末比1,181百万円減少し129,674百万円となりました。

流動資産では、たな卸資産の3,416百万円増加、受取手形及び売掛金の1,732百万円増加、流動資産のその他の1,834百万円増加がありましたが、現金及び預金の10,196百万円減少などで、前連結会計年度末比3,216百万円減少の56,955百万円となりました。

固定資産では、有形固定資産の1,561百万円増加などで、前連結会計年度末比2,034百万円増加の72,719百万円となりました。

### Point 2 負債の部

負債の部は、前連結会計年度末比602百万円減少し79,345百万円となりました。

これは主に未成工事受入金の2,134百万円の増加がありましたが、課徴金引当金の1,688百万円減少、支払手形及び買掛金の1,771百万円減少などによるものです。

### Point 3 純資産の部

純資産の部は前連結会計年度末比579百万円減少し50,329百万円となりました。

これは主にその他有価証券評価差額金の104百万円の増加がありましたが、利益剰余金の715百万円減少などによるものです。

## 四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

区 分	前第2四半期 連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	前連結会計年度 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
売上高	68,790	68,488	150,377
売上原価	54,981	59,909	120,238
売上総利益	13,809	11,579	30,138
販売費及び一般管理費	11,731	11,874	23,369
<b>営業利益</b>	<b>2,077</b>	<b>△ 294</b>	<b>6,768</b>
営業外収益	695	528	1,045
営業外費用	272	223	560
<b>経常利益</b>	<b>2,500</b>	<b>9</b>	<b>7,253</b>
特別利益	133	341	417
特別損失	130	599	2,327
<b>税金等調整前四半期(当期)純利益</b>	<b>2,503</b>	<b>△ 247</b>	<b>5,343</b>
法人税、住民税及び事業税	1,681	991	2,661
法人税等調整額	△ 696	△ 1,099	172
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	1,518	△ 139	2,510
少数株主利益	202	138	302
<b>四半期(当期)純利益</b>	<b>1,316</b>	<b>△ 277</b>	<b>2,207</b>

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

区 分	前第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 420	△ 7,034
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,676	△ 3,624
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,062	458
現金及び現金同等物に係る換算差額	22	4
現金及び現金同等物の増減額	△ 4,010	△ 10,196
現金及び現金同等物の期首残高	15,382	19,112
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,371	8,916



トーモクベトナム社

## 海外事業のさらなる拡大 成長著しい東南アジアへの進出

トーモクは日本の段ボール会社として  
初めて米国カリフォルニアに進出  
現在も順調に業績を伸ばしています。  
海外における段ボール事業の更なる拡大を目指し  
“ベトナム”に段ボール製造会社を設立しました。  
世界のお客様の要望にお応えしながら  
よりクオリティの高いパッケージを提供して参ります。



ホーチミン市街



## 物流拠点群馬センターの完成



トーウンサービス群馬センター

物流体制の効率化とコストの軽減を狙った大型物流センターが群馬県に完成しました。

12台もの大型トラックを全天候型の屋内に同時に配置し、作業を行うことができます。徹底した防犯体制、作業環境、情報管理の完備等によって食品をも扱うことができる設備環境を整えました。

## 関西エリアに最先端技術を導入した段ボール工場を建設中

大阪工場（大阪府門真市）に次ぐ関西地区二つ目の生産拠点として、兵庫県神戸市西区（神戸サイエンスパーク内）に来春3月の稼働を目指し神戸工場を建設中です。

人と環境にやさしい最先端の工場を目指しております。



神戸工場完成イメージ

# 主要な営業所および工場 (平成26年9月30日現在)

当 社	本 社	東京都千代田区	
	工 場	館林（群馬県館林市） 厚木（神奈川県厚木市） 大阪（大阪府門真市） 九州（佐賀県基山町） 浜松（静岡県浜松市） 新潟（新潟県聖籠町） 仙台（宮城県岩沼市） トモプレスト（群馬県明和町）	岩槻（埼玉県さいたま市） 札幌（北海道小樽市） 小牧（愛知県小牧市） 清水（静岡県静岡市） 青森（青森県青森市） 山形（山形県山形市） 千葉紙器（千葉県長南町）
スウェーデンハウス 株式会社	本 社	東京都世田谷区	
	支 社 支 店	北海道（北海道札幌市） 新潟（新潟県新潟市） 千葉（千葉県船橋市） 横浜（神奈川県横浜市） 関西（大阪府大阪市） 九州（福岡県福岡市）	東北（宮城県仙台市） 北関東（埼玉県さいたま市） 東京（東京都新宿区） 名古屋（愛知県名古屋市中区） 広島（広島県広島市）
	住 宅 展 示 場	北海道地区（10カ所） 関東地区（37カ所） 関西地区（6カ所） 九州地区（6カ所）	東北地区（2カ所） 名古屋地区（7カ所） 中国地区（1カ所）
トーウンサービス 株式会社	本 社	埼玉県さいたま市	
	事 業 所	北海道（北海道小樽市） 北関東輸送（群馬県明和町） 北関東第二（群馬県明和町） 北関東第四（埼玉県さいたま市） 西日本（岐阜県瑞穂市）	共同物流（埼玉県羽生市） 北関東第一（群馬県明和町） 北関東第三（群馬県千代田町） 南関東（神奈川県厚木市）
株式会社ホクヨー	本 社	東京都千代田区	
北洋交易株式会社	本 社	北海道札幌市	
	支 店	神奈川県川崎市	
株式会社 トーシンパッケージ	本 社	埼玉県加須市	
	工 場	本社（埼玉県加須市）	大利根（埼玉県加須市）
サウスランドボックス カンパニー	本社・工場	米国カリフォルニア州L.A.地区	
トーモクヒューズAB	本社・工場	スウェーデン国インシヨン	

## 会社の概要 (平成26年9月30日現在)

### 会社の概要

社 名 株式会社トーモク  
TOMOKU CO.,LTD.

本 社 〒100-0005  
東京都千代田区丸の内二丁目2番2号  
電 話 03-3213-6811  
F A X 03-3213-2825

創 業 昭和24年(1949年)5月27日

資 本 金 136億6,987万円

### 役員

代表取締役社長 斎藤 英男

専務取締役 岡田 正人

常務取締役 内野 貢

常務取締役 中橋 光男

常務取締役 廣瀬 正二

取締役 栗原 由行

取締役 新井 孝

取締役 村井 秀壽

取締役 有賀 毅

取締役 宮坂 朋純

取締役 岡本 良夫

取締役(社外) 坂上 誠

常勤監査役 羽石 晴夫

監査役 佐藤 道夫

監査役(社外) 八木 茂樹

監査役(社外) 飯田 丘

上席執行役員 南 義久

上席執行役員 神戸 渉

上席執行役員 吉能 久記

執行役員 奈良 隆

執行役員 山下 省一

執行役員 井上 光男

執行役員 深澤 輝隆

執行役員 山口 禎人

執行役員 富田 史朗

## 株式の状況 (平成26年9月30日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数 290,098,000株

発行済株式の総数 96,707,842株

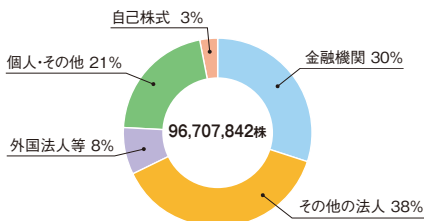
株 主 数 5,993名

### 大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	出資比率 (%)
ホッカンホールディングス株式会社	8,522	9.11
三菱商事株式会社	8,435	9.02
丸紅株式会社	4,618	4.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,803	4.06
株式会社みずほ銀行	3,748	4.01
日本製紙株式会社	3,595	3.84
特種東海製紙株式会社	2,700	2.88
トーモク共栄会	2,627	2.81
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,222	2.37
日本生命保険相互会社	2,116	2.26

(注) 1. 当社は、自己株式3,253千株を保有しておりますが、上記から除いております。  
2. 出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況



# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	3月31日 その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします。
配当金支払株主確定日	期末配当金につきましては3月31日、中間配当金の支払いを行う場合は9月30日といたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所、札幌証券取引所
公告掲載新聞	日本経済新聞

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いきませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株式会社 トーモク TOMOKU CO., LTD.

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-2-2 丸の内三井ビル 4 階

TEL.03-3213-6811 FAX.03-3213-2825

<http://www.tomoku.co.jp/>